

2013年6月13日

mail ニュース

No.19・通巻294

# 自治労連 都庁職

自治労連都庁職員

労働組合

発行人 風間隆行

TEL 03-5381-0250

## 憲法学習会を開催し、自民党改憲案を学ぶ

自治労連都庁職は5月27日、自民党が昨年4月28日に発表した改憲案について学習会を開催しました。この催しは、自治労連都庁職だけでなく、都庁内に事務所を多く東京自治労連単組の一つである自治労連東水労、都庁関連労働者を組織している都庁法人、都庁職病院支部、憲法を守ろうと都庁内の支部でつくっている都庁9条の会との共同で開催したものです。

病院支部の大島君代さんの司会ですすめられ、開会にあたって高柳委員長から「7月には参議院選挙があります、6月にはその前哨戦ともいわれている都議会議員選挙も行われます。それまでにこの策動の本質を多くの人に知らせ、憲法改悪反対の世論を大きくしていかなければなりません。今日の学習会を契機に、さらに奮闘しましょう」とあいさつし、その後講演に入りました。

講師には、三多摩法律事務所に勤務し、東京自治労連弁護団の一員でもある山口真美（なおみ）さんをお招きしました。先生は自治労連が作成した「自民党改憲案についての自治労連の意見書」のワーキングチームのメンバーでもあり、ただいま売り出し中の弁護士です。



当日は、自民党改憲案の学習だけでは不十分との先生の意見に基づき、「憲法の大切さと安倍政権の狙い」と題して、約70分にわたって講演していただきました。お話は大変好評で、参加した支部からは、自分たちが企画する学習会にも来てほしいとのオファーが早くもありました。

講演に続いて、都庁九条の会代表である山田みどりさんが本庁文化体育会朗読サークルの方々とともに、「吉永小百合編『第2楽章ヒロシマの風』より、

「井上ひさし『子どもにつたえる日本国憲法』より」を朗読しました。戦争体験のない世代の組合員にとってこの朗読は、戦争の悲惨さを臨場感をもってリアルに感じられるものとなりました。

また、都庁69行動実行委員会からは沖縄平和ツアーの映像を経済支部の関本さんが紹介し、参加者の一人である衛生局支部の小林さんが報告を行いました。

最後に自治労連東水労の鶴岡書記長が閉会の挨拶を行いました。参加者は、皆様のご協力により目標を超え42人でした。